

## 嬉野医療センターを受診された患者さまへ

### 研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	Critical Care Outreach Team(CCOT)導入による当院の Rapid Response System(RRS)への効果の検討
研究責任者(所属名)	小川 喜久恵(看護部 診療看護師)
本研究の目的	この研究は、CCOT導入前後での看護師のRRSに対する理解や習得度の違いを明らかにすることを目的としています。当院では、2011年12月よりRRSを導入しRRS委員会でのラウンドやNational Early Warning Score(以下、NEWS)の取り組みを行ってきました。しかし、未だにMedical Emergency Team(以下、MET)起動が躊躇され、MET起動件数の増加に繋がらない現状があります。今回、CCOTを導入することにより心理的要因からMET起動を躊躇している症例に対し、心理的サポートに繋がると考えています。また、CCOTによりMET起動を躊躇している症例では、積極的に介入していくことで、RRSへの有効性が期待できると考えています。さらに、病棟間でのRRSに対する看護師の理解や習得度に違いがないか明らかにすることで、今後の看護師へのアドバイスや教育内容に役立てることができると考えています。
調査データの該当期間	令和元年7月から令和3年3月まで
研究の方法 (使用する試料等)	① 当院におけるCCOT導入前のMET起動症例とMET起動されていない院内急変・死亡患者症例及びCCOT導入後のMET起動症例・CCOT対象者症例・死亡患者症例における診療録でのデータ分析 ② 当院の病棟で勤務している看護師へのアンケート調査 (2回目のアンケート調査においては1回目に協力が得られた者とする)
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120(代表) 担当者：小川 喜久恵
備考	